

第12期3年I組の集い

桜にはまだ早い3月29日 私ども 昭和32年3月卒業 第12期3年I組の「平成」最後の集いを
関西学院キャンパス内の オハラホールで催しました

出席者は10人 みな傘寿を迎えてはいますがそれなりに元気な姿を見せました

闘病中の堀本邦雄さんが廣田雅良さんに託した この集いに向けたメッセージ箋(別記)を拝見し
みな彼に思いを馳せました

クラスは 担任多田健一先生のもと 52名でしたが 現在は先に逝かれた方15名 住所不明の方5名
となっておりす

「平成」を顧みますと 51才で迎え 第一線の社会人としては 多事な経験を積みましたが
30年の間 戦争の影響を受けずに終わったことは何よりでありました

一方「昭和」の初め30年間は 満州事変から 空襲 原子爆弾の投下 敗戦と続き 大きな犠牲を蒙りました
戦後の復興期には 朝鮮戦争特需 講和条約締結 等 激動に明け暮れました

私たちは 昭和13(14)年に生をうけ 昭和20年4月に国民学校(小学校)に
芦屋高校には 昭和29年4月に入学しました

学区制が設定されていましたが 西宮 伊丹 尼崎 等の学区外から入学した多くの友とも 机を並べました
現在と比較しますと みな 慎ましい学生生活でありました

入学時の校長 飯野先生は 文武両道を謳われ 硬式野球部が昭和31年春の選抜野球大会に出場
甲子園球場で応援したのは いまなお 良い思い出であります
硬式野球部員であった松葉壮一さんは

「公立である芦屋高校の選手として 甲子園の選抜に出場したことが一番の自慢であり 誇りである」
とされています

私たちの集いは 卒業以来 今日まで 開催時期に間隔はあったものの 継続してきました
数年前からは 開催場所を現在の地に特定し 蜂谷直一さん 平井湊二さんを幹事として
春秋 年二回集まっております

「みな傘寿に到達したことから 今回限りにしたらどうか」との意見がありました
継続することとなりました

朝日新聞 1月25日朝刊「折々のことば」に

『コミュニティが持続する条件は 人々が目的や価値観を共有することではない

「用もないのに行く 顔を出しておきたくなる場所がコミュニティだと僕は思うんです(津田大介)』
とあります

私たちは 独居老人 引籠り老夫婦 の予備軍です

この様な集いがあっても 良いのではないのでしょうか

更に 多くの仲間が参加してくだされば と思っています

次回の集い「令和」第1回は

10月10日(双十節の日) 正午 関西学院キャンパス内 オハラホール

幹事は 後藤雅通さん (0797 35 6190 m-gotoh@basil.ocn.ne.jp) です

中江 伸記

[2019.4.23]

以上